



防衛大学校オープンキャンパス参加 ～輝かしい防大生に憧れて～

2等陸曹 大内 雅司



防衛学教育学群ブース風景



自動車工学の説明を受ける参加者



訓練見学風景

自衛隊群馬地方協力本部（本部長 防衛事務官 小久保勝之）は、令和6年6月1日（土）防衛大学校で開催されたオープンキャンパスに対象者及びその家族7名を案内しました。当日は、学生舎見学・模擬授業及び訓練見学など盛り沢山な内容となっており、参加者は自由に見学を楽しんでいました。中でも各場所で開催していた学科・研究室紹介及び研究室公開では、パンフレットでは拾うことのできない教育進行要領や卒業研究内容等に目を輝かせながら在校生に質問している対象者もいました。今回は、推薦志願予定者に対し群馬出身の在校生が昼休みに駆け付けてくれ、個別相談に応じてくれました。

その中では「推薦に向け集団討議などはどのように準備しましたか？」「入校後大切だと感じたことは何ですか？」等の質問に対し、具体的な経験談を交えながら丁寧にアドバイスをしてくれました。約15分と短い時間ではありましたが、同郷の先輩から内容の濃い話を直接聞くことができ喜んでいました。

その後は、防衛学館やグライダーの訓練展示を見学し、「今まで学んだことのない授業なのでも面白そうです」などと前向きな話をしてくれました。

最後に時計台広場で実施した儀仗隊によるドリル演技では、一糸乱れぬパフォーマンスにその場にいた見学者一同感動していました。

帰路の車内では、「自衛隊の学校ということでもみんな厳しい顔をしていると思っていましたが、すれ違う人達みんなキラキラ輝いてとても充実した生活を送っているのが分かりました」「今は高校2年で漠然と見学し、人社の模擬授業逃してしまったので、次回必ず見学してイメージアップを図りたいです」推薦志願予定者は、必ず防衛大学校へ進み仲間とともに切磋琢磨してみたいです。その後、駐在武官などの世界に羽ばたく自衛官になりたいです。」と強い意気込みを話してくれました。

群馬地方協力本部は、同郷出身者を活用し、より効果的な見学会を実施し募集目標達成を合言葉に邁進していきます。



群馬出身学生による個別相談



群馬出身学生と参加者



儀仗隊によるドリル演技